

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成26年7月30日

上場会社名 SBIホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8473 URL <http://www.sbigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 北尾 吉孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 森田 俊平 TEL 03-6229-0100

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	44,413	△44.6	5,195	△83.4	4,166	△86.3	2,312	△87.0	6,908	△57.5	4,839	△78.1
26年3月期第1四半期	80,105	118.9	31,278	700.8	30,457	787.5	17,829	682.4	16,269	-	22,140	-

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	31	91	29	67
26年3月期第1四半期	75	17	75	16

(注) 平成26年3月期第1四半期の親会社の所有者に帰属する四半期利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「-」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,885,666	388,000	330,461	11.5				
26年3月期	2,875,304	388,463	325,631	11.3				

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
26年3月期	-	0.00	-	20.00	20.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

当企業グループが展開する投資・証券関連事業をはじめとする金融事業全般は、その特性上、株式市場等の変動要因による影響が極めて大きいため、業績予想の開示は行っておりませんが、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な業績予想が可能となった場合には、速やかにその開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

詳細は添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	224,561,761株	26年3月期	224,561,761株
27年3月期1Q	8,067,603株	26年3月期	8,078,743株
27年3月期1Q	216,491,899株	26年3月期1Q	216,433,882株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく要約四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。また、この説明会で配布した資料、動画等につきましては、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

・平成26年7月30日・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表注記 .....	10
営業収益 .....	10
重要な後発事象 .....	10

※ 本第1四半期決算短信の添付資料においては、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間を「第1四半期」、前連結会計年度を「前期」と記載しております。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経営成績につきましては、営業収益が44,413百万円(前年同期比44.6%減少)、営業利益は5,195百万円(同83.4%減少)、税引前四半期利益は4,166百万円(同86.3%減少)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6,908百万円(同57.5%減少)となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

	営業収益			税引前四半期利益		
	前第1四半期	当第1四半期		前第1四半期	当第1四半期	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金融サービス事業	38,480	33,242	(13.6)	9,921	9,534	(3.9)
アセットマネジメント事業	38,990	9,940	(74.5)	21,925	(2,304)	—
バイオ関連事業	1,272	177	(86.1)	71	(1,248)	—
計	78,742	43,359	(44.9)	31,917	5,982	(81.3)
その他	1,738	1,584	(8.9)	201	311	54.4
消去又は全社	(375)	(530)	—	(1,661)	(2,127)	—
連結	80,105	44,413	(44.6)	30,457	4,166	(86.3)

(%表示は対前年同期増減率)

#### (金融サービス事業)

証券関連事業、銀行業、保険事業、住宅ローンの貸出しに関する事業、クレジットカード事業、リース事業などの多種多様な金融関連事業及び金融商品等の情報提供に関する事業を行っております。

当第1四半期における営業収益は、33,242百万円(同13.6%減少)、税引前四半期利益は9,534百万円(同3.9%減少)となりました。

#### (アセットマネジメント事業)

国内外のIT、バイオ、環境・エネルギー及び金融関連のベンチャー企業等への投資に関する事業を行っております。

当第1四半期における営業収益は、9,940百万円(同74.5%減少)、税引前四半期利益は2,304百万円の損失(前年同期は21,925百万円の利益)となりました。当事業の営業収益は、主に営業投資有価証券から生ずる収益であり、公正価値の変動額も含まれております。なお、当事業の業績には、投資育成等のために取得した企業等のうち支配していると認められる企業を連結しているため、同企業の業績が含まれております。

#### (バイオ関連事業)

生体内に存在するアミノ酸の一種である5-アミノレブリン酸(ALA)(※)を活用した医薬品や、がん及び免疫分野における医薬品などの開発と販売に関する事業を行っております。

当第1四半期における営業収益は、177百万円(前年同期比86.1%減少)、税引前四半期利益は1,248百万円の損失(前年同期は71百万円の利益)となりました。

(※)5-アミノレブリン酸(ALA)とは、体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸で、ヘムやシクロムと呼ばれるエネルギー生産に関与するたんぱく質の原料となる重要な物質ですが、加齢に伴い生産性が低下することが知られています。ALAは、焼酎粕や赤ワイン、かいわれ大根等の食品にも含まれるほか、植物の葉緑体原料としても知られています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は2,885,666百万円となり、前期末の2,875,304百万円から10,362百万円の増加となりました。また、資本は前期末に比べ463百万円減少し、388,000百万円となりました。

なお、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は240,113百万円となり、前期末の276,221百万円から36,108百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,574百万円の収入(前第1四半期は69,226百万円の収入)となりました。これは主に、「顧客預金の増減」が10,159百万円及び「法人所得税の支払額」が10,598百万円の支出となった一方で、「営業債務及びその他の債務の増減」が7,585百万円、「営業投資有価証券の増減」が7,540百万円及び「証券業関連資産及び負債の増減」が6,247百万円の収入となったこと等の要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,606百万円の収入(前第1四半期は4,374百万円の収入)となりました。これは主に、「投資有価証券の取得による支出」が2,939百万円となった一方で、「投資有価証券の売却による収入」が3,735百万円となったこと等の要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、36,368百万円の支出(前第1四半期は33,462百万円の支出)となりました。これは主に、「長期借入による収入」が2,407百万円となった一方で、「短期借入金の純増減額」が26,981百万円の支出、「長期借入金の返済による支出」が6,294百万円となったこと等の要因によるものであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当企業グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の新たに適用する基準を除き、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当企業グループは、第1四半期より以下の基準を適用しております。これらについては、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

基準書及び解釈指針	新設・改訂の概要
IFRS第10号 連結財務諸表	
IFRS第12号 他の企業への関与の開示	投資企業の定義の明確化及び投資先に対する投資の測定方法
IAS第27号 個別財務諸表	
IAS第32号 金融商品：表示	金融資産と金融負債の相殺表示の要件の明確化及び適用指針の追加
IAS第36号 資産の減損	非金融資産の回収可能価額の開示
IFRIC第21号 賦課金	賦課金に係る負債認識の明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前期末 (2014年3月31日)	当第1四半期末 (2014年6月30日)
	百万円	百万円
<b>資産</b>		
現金及び現金同等物	276,221	240,113
営業債権及びその他の債権	336,206	269,324
証券業関連資産		
預託金	935,497	1,072,020
信用取引資産	352,675	257,879
その他の証券業関連資産	451,321	443,819
証券業関連資産計	1,739,493	1,773,718
その他の金融資産	30,593	24,790
営業投資有価証券	127,365	118,287
その他の投資有価証券	49,234	49,029
持分法で会計処理されている投資	39,820	39,882
投資不動産	33,195	30,954
有形固定資産	11,826	11,390
無形資産	196,438	196,585
売却目的保有資産	—	90,623
その他の資産	26,513	30,732
繰延税金資産	8,400	10,239
<b>資産合計</b>	<b>2,875,304</b>	<b>2,885,666</b>
<b>負債</b>		
社債及び借入金	440,112	345,966
営業債務及びその他の債務	53,503	53,575
証券業関連負債		
信用取引負債	186,806	85,537
有価証券担保借入金	211,671	266,667
顧客からの預り金	492,159	559,472
受入保証金	439,927	478,989
その他の証券業関連負債	287,350	267,656
証券業関連負債計	1,617,913	1,658,321
顧客預金	302,314	302,815
未払法人所得税	10,362	2,424
その他の金融負債	38,015	38,236
売却目的保有資産に直接関連する負債	—	74,681
その他の負債	15,767	13,241
繰延税金負債	8,855	8,407
<b>負債合計</b>	<b>2,486,841</b>	<b>2,497,666</b>
<b>資本</b>		
資本金	81,681	81,681
資本剰余金	152,725	152,422
自己株式	(5,140)	(5,135)
その他の資本の構成要素	16,225	18,790
利益剰余金	80,140	82,703
親会社の所有者に帰属する持分合計	325,631	330,461
非支配持分	62,832	57,539
<b>資本合計</b>	<b>388,463</b>	<b>388,000</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>2,875,304</b>	<b>2,885,666</b>

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
	百万円	百万円
営業収益	80,105	44,413
営業費用		
営業原価	(17,494)	(10,659)
金融費用	(5,158)	(3,949)
販売費及び一般管理費	(24,459)	(23,144)
その他の費用	(915)	(1,503)
営業費用合計	(48,026)	(39,255)
持分法による投資利益	(801)	37
営業利益	31,278	5,195
その他の金融収益・費用		
その他の金融収益	64	85
その他の金融費用	(885)	(1,114)
その他の金融収益・費用合計	(821)	(1,029)
税引前四半期利益	30,457	4,166
法人所得税費用	(12,628)	(1,854)
四半期利益	17,829	2,312
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,269	6,908
非支配持分	1,560	(4,596)
四半期利益	17,829	2,312
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的(円)	75.17	31.91
希薄化後(円)	75.16	29.67

要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	17,829	2,312
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	1,125	(44)
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	3,186	2,571
税引後その他の包括利益	4,311	2,527
四半期包括利益	22,140	4,839
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	20,474	9,468
非支配持分	1,666	(4,629)
四半期包括利益	22,140	4,839



(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期(自2013年4月1日 至2013年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2013年4月1日残高	81,668	160,550	(5,117)	6,196	60,002	303,299	57,236	360,535
四半期利益	—	—	—	—	16,269	16,269	1,560	17,829
その他の包括利益	—	—	—	4,205	—	4,205	106	4,311
四半期包括利益合計	—	—	—	4,205	16,269	20,474	1,666	22,140
新規普通株式の発行	7	7	—	—	—	14	—	14
剰余金の配当	—	—	—	—	(2,170)	(2,170)	(365)	(2,535)
自己株式の取得	—	—	(31)	—	—	(31)	—	(31)
自己株式の処分	—	1	11	—	—	12	—	12
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(157)	—	—	—	(157)	(297)	(454)
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	(1,122)	1,122	—	—	—
2013年6月30日残高	81,675	160,401	(5,137)	9,279	75,223	321,441	58,240	379,681

当第1四半期(自2014年4月1日 至2014年6月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金	合計	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2014年4月1日残高	81,681	152,725	(5,140)	16,225	80,140	325,631	62,832	388,463
四半期利益	—	—	—	—	6,908	6,908	(4,596)	2,312
その他の包括利益	—	—	—	2,560	—	2,560	(33)	2,527
四半期包括利益合計	—	—	—	2,560	6,908	9,468	(4,629)	4,839
連結範囲の変動	—	111	—	—	—	111	(21)	90
剰余金の配当	—	—	—	—	(4,340)	(4,340)	(1,142)	(5,482)
自己株式の取得	—	—	(5)	—	—	(5)	—	(5)
自己株式の処分	—	0	10	—	—	10	—	10
支配喪失を伴わない子会社に 対する所有者持分の変動	—	(414)	—	—	—	(414)	499	85
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	5	(5)	—	—	—
2014年6月30日残高	81,681	152,422	(5,135)	18,790	82,703	330,461	57,539	388,000

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	30,457	4,166
減価償却費及び償却費	2,667	2,912
持分法による投資利益	801	(37)
受取利息及び受取配当金	(17,941)	(14,812)
支払利息	5,918	5,063
営業投資有価証券の増減	(15,573)	7,540
営業債権及びその他の債権の増減	24,262	(4,510)
営業債務及びその他の債務の増減	27,851	7,585
証券業関連資産及び負債の増減	30,421	6,247
顧客預金の増減	(27,745)	(10,159)
その他	(753)	(438)
小計	60,365	3,557
利息及び配当金の受取額	18,102	14,796
利息の支払額	(6,776)	(5,181)
法人所得税の支払額	(2,465)	(10,598)
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,226	2,574

	前第1四半期 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	(1,163)	(956)
投資有価証券の取得による支出	(1,641)	(2,939)
投資有価証券の売却による収入	5,463	3,735
子会社の取得による支出	(2,057)	(99)
子会社の売却による収入	2,862	156
貸付による支出	(859)	(200)
貸付金の回収による収入	2,859	38
その他	(1,090)	1,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,374	1,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	(23,526)	(26,981)
長期借入による収入	5,294	2,407
長期借入金の返済による支出	(11,900)	(6,294)
株式の発行による収入	14	—
非支配持分からの払込みによる収入	13	179
投資事業組合等における非支配持分からの出資受入による収入	116	—
配当金の支払額	(2,029)	(4,130)
非支配持分への配当金の支払額	(362)	(404)
投資事業組合等における非支配持分への分配金支払額	(521)	(749)
自己株式の取得による支出	(31)	(5)
非支配持分への子会社持分売却による収入	19	114
非支配持分からの子会社持分取得による支出	(69)	—
その他	(480)	(505)
財務活動によるキャッシュ・フロー	(33,462)	(36,368)
現金及び現金同等物の増減額	40,138	(32,188)
現金及び現金同等物の期首残高	133,362	276,221
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	1,654	1,127
売却目的保有資産への振替	—	(5,047)
現金及び現金同等物の四半期末残高	175,154	240,113

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表注記

営業収益

	前第1四半期 (自2013年4月1日 至2013年6月30日)	当第1四半期 (自2014年4月1日 至2014年6月30日)
	百万円	百万円
営業収益		
金融収益		
受取利息(注)	17,102	14,616
受取配当金	155	77
FVTPLの金融資産から生ずる収益	22,417	(5,351)
トレーディング損益	3,435	3,165
金融収益合計	43,109	12,507
役務の提供等による収益	29,658	24,081
その他の収益	7,338	7,825
営業収益合計	80,105	44,413

(注) 金融収益の受取利息は、償却原価で測定される金融資産から生ずるものであります。

重要な後発事象

該当事項はありません。